



戦争法は、 何をもたらすか!

安全保障関連法案(多くの方は「戦争法」と言う)が成立し、日本は戦争放棄国家ではなくなった。日本を護るためではなく、米国等の戦争に自衛隊員を派遣することを決めたからである。

海外での自衛隊の活動は、同様な活動の他国軍の例からみて、死傷者が出る確率が高い。

政府は自衛隊の役割は後方支援で安全だと主張している。しかし、ゲリラやテロリストは前線の戦闘部隊と正面から戦うのではなく、食糧、水、弾薬、燃料などの輸送路や物資の集積所を攻撃して補給を断とうとする。後方支援の自衛隊員こそ危ないのである。

イラク戦争で、米軍は 4,491 人の死者と約 32,000 人の負傷者を出した。このうち戦争行為の中で生じた死者は 139 人、負傷者は 545 人である。死傷者のほとんどは、その後の「戦後処理」の過程で生じたものである。この戦後処理にも自衛隊員が派遣されることになる。

日本防衛のためではなく、他国の地域紛争に介入する米国軍支援のためだけに、自衛隊員が派遣され、戦死したり重傷を負う可能性、あるいは民間人を誤射する可能性も高い。この結果、自衛隊は退職者が増え入隊希望者が激減する。国は、ブラック企業で過酷な労働を強いられているような若者を集め(経済的徴兵)、事態に対処することを必ず狙う。

これが戦争法がもたらす現実である。

戦争の惨禍を防ぐには、自衛隊の戦地派兵を止めさせればよい。来夏の参議院選挙で戦争法の廃止を目指す野党が議席の過半数を取り、国会が「自衛隊の派遣・活動計画」を承認できないように、国民が選択することだ。

**戦死者・殺人者を出さないため、
戦争に反対し、
戦争法の実施に
絶えず反対の声を上げていきましょう!!**

会場地図 市民ホールやたべ/つくば市谷田部 4711 番地



アクセス

- 車** 谷田部 IC から 10 分、旧つくば市役所向い
- バス**
 - ◎つくば市「つくバス」
 - ・[J] 自由ヶ丘シャトル(谷田部もしくは荃崎)利用で谷田部窓口センター下車
 - ◎関東鉄道バス
 - ・牛久駅から「みどりの駅」行 谷田部中央下車
 - ・みどりの駅から土浦・牛久・農林団地循環行 谷田部四つ角下車
- タクシー**・つくばエクスプレス つくば駅・みどりの駅利用
- 駐車場**・市民ホール内駐車場・隣の谷田部総合体育館駐車場(ふれあい広場)
・向いの旧市役所駐車場

問合せ

- 長田 / 029-856-2286 (つくば)
- 佐藤 / 0296-33-5931 (結城)
- 田口 / 0296-74-4701 (笠間)
- 福田 / 029-831-6288 (土浦)
- 森川 / 029-874-7566 (牛久)
- 齋藤 / 029-282-3654 (東海)
- 佐藤 / 029-273-4775 (ひたちなか)
- 中山 / 029-802-7415 (阿見)
- 藤田 / 0293-46-5611 (北茨城)
- 山浦 / 029-251-3839 (水戸)